益社 原案どおり可決承認した。 3 月 12 日、 ス予算となった。 事業活動収入が前年度を3・0 館プラザエフで開かれ、新法 回 团 3月号参照)、 法 画 ・収支予算案につ 東京・六番町の主婦会 -連続の前年度比マイ 移行の選択を承認 当初から赤字を 平成23年 予算は、 £ \$ (人(公 ても 度

平成22年度の第2回 平 大震災の直後ということで、 成 予算続く 22 年 度 第 「通常総会が、 2 3 月 12

髙

橋

重之

(事業

İ

4

(

11月に

Ш

研

でミニ

水

は3月号に速報ずみなので、 重要議案があり、 応答などを、 髙橋会報編集委員に報告してもらった。 開催されることになった。 開催も躊躇されたが、 今号は事業計画、 日に開催された。 新法人移行に関して 収支予算案、 新法人移行の 東日本 質疑

平成 22年度第2回 通常総会 が

計画・ 余儀なくされたことになる 収支予算案参照 (事業

大地 決定したの ばならない。 新法人への移行決議は急がなけ 非常事態に総会を開催するかどう 3 尾上会長は迷った。 一震が発生し、 并 11 H は 予定どおり 東北 11 日午後8時を過 大津波が襲 ・関東地方に巨 し の開 かし、 催 5 た。 れ

12 日 は、 ぎてい まったが、 開催時点での出席者は86人にとど 午後2時の開催を少し遅らせた。 う。 白熱の議論が展開された。 関心の高いことを示し をもらってい この た。 首都圏の交通が混乱 法人への移行などの議案 日までに147 きびし 苦渋の た。 決断だっ い予算案を前 例年に比べて てい σ 出席 たと た。 通 13

公益目的事業を積極的に実施

に分けて明示した。 目的事業と会員のため 収支予算案は岡部紘財務 事が説明し 事業計画 [案は宮崎紘一 た。 事業計] の共益 担当常 画 副会長、 は公益 務

キ

ヤンプ。

東海支部

の東海学生

岳連盟への支援活動は秋に実施

(3)

)スポ

1

ツ及び登

に関 深

八する [祭を

事

*業=第 月に開

30 催。

口 Ш

田

4

福

海外登-山教室を実施。 東九州、 登ろう」、北海道支部が7~8月 に第13 月と2月に分けて実施する。 英文ジャー 力発電を行 に自然児学校、 Щ Щ̈ と9月に での活動が多い。 の日 児童・青少年の育成事業=支 は791~802号を発 回 Щ 宮崎支部などが子ども登 秩父宮記念山岳賞。 助 制定運動の推進。 なう。 成金の審査・ ナルは6月に発行する。 JAC会員と一 青森、 Щ Щ 研は自閉 山形支部 岳 東京多摩、 交付は7 |は5月に、 症 が 5



2011年(平成23年) 4月号(No. 791) **類日本山岳会** The Japanese Alpine Club 定価 1 部 150 円 会員の会報購読料は年会費に 含まれています URL http://www.jac.or.jp e-mail jac-room@jac.or.jp

目 次

平成22年度第2回通常総会開催、・・	1
緊縮予算続く	
平成23年度事業計画書 · · · · · ·	4
平成23年度収支予算書 · · · · · ·	5
東日本大震災の被災現場から…	6
岩手支部/宮城支部/福島支部	
東日本大震災と日本山岳会の対応・・	8
東北・関東支部長からの応援メッセージ・・	8
大震災に、海外からも温かい応援メッセージ・・	9
梅棹流「知的生産」の現場が再現された	
「ウメサオタダオ展――知的先覚者の軌跡」・・	10
東西南北	11
三浦半島小網代の森	
北海道主脈縦走	
ウェストンと缶詰の空き缶	
活動報告・・・・・・	13
科学委員会/集会委員会	
図書紹介・・・・・・	14
図書受入報告 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	15
会務報告 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	16
ルーム日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
会員異動・・・・・・	17
INFORMATION · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	18
6月の総会に委任状の提出を・・	19

▶日本山岳会事務(含図書室)取扱時間

·金·····13~20時

第2、第4土曜日·····閉室

第1、第3、第5土曜日……10~18時

ゴールデンウィーク休室 4月29日~5月5日

公益目的事業

①登山に関する文化・ 学術 の 振 山梨支部が

年6回、 習会。分水嶺等踏査は、オホーツ 画を全国で巡回上映する。JAC を例年どおり開催する。海外委で 井支部などが播隆祭、 -YOUTHが岩登り・沢登り講 海外登山ドキュメント映 東京多摩分境嶺など。 房総半島分水嶺、 泰澄祭など

流登山。⑦その他=日 際交流事業=7月に日中韓学生交 彦山(北九州)などで実施。 環境保全事業=自然保護全国集会 などとの連携など。 守るパトロール。清掃登山は久住 づくり事業が白神山地ブナ林 は6月11~12日に福岡で開催。 登山者のための天気予報。 (宮崎)など。福井が夜叉ヶ池を (東九州)、 ズンに携帯電話メールで読める ④事故対策事業=春山・冬山 猿投の森 大平山 (秋田)、 (東海)、 本山岳協会 水源の森 ⑤ 山 6 英 国 岳

共益事業 (会員のための事業)

12 月 3 日 ベット未踏峰登山。 ス山行、9月にナンガパルバット 集会委が7月に第3回欧州アルプ トレッキングなど。 集会、施設の運用等= 福井支部がチ 年次晩餐会は

②海外登山等= 東海支部を中



東日本大地震直後、 緊急の開会であいさつする尾上昇会長

山など。 心に学生によるルンポ • カンリ

山研事業

第1回総会は6月18日に開催する。 ③会議開催 など=平 成 23 年 度

|収支予算案

提として計上した。 0人と見込んだ。事業収入は40 象者となる会員が55人と見込まれ を組まざるを得なかった。会費 で大きな変化はない。 入合計は198万円減の6486 円減の420万円で、事業活動収 会費を2年間滞納していて除籍対 16万円増の5988万円とした。 入会金収入は、 『期収支は100万円の赤字 継続していただくことを前 前年度予算に比 入会者は12 厳しい予算 万

万円。 期収支は予算の段階から100 万円減の6536万円とした。 ス予算だ。 4年連続して前年比マイナ 事業活動支出は

46

6

当

もの。

円増。 管理費は取水沢の修復工事で50 したので107万円減、 は前年度にホームページを新しく 万円を計上した。調査研究事業費 は会の現状を知ってもらう重要な 前年度と同じ1040万円。 円の赤字を余儀なくされた。 事業活動支出は、 会報 支部事業費も同じく800 Щ 英文ジャーナル 出版事業費

となった。 予算としては、 にならないようにしていきたいが、 期中、経費を削り、 て賃借費が324万円減となった。 年度は290万円減。これによっ 現状復帰した費用がかかった。 費は、昨年は201号室を返却 見込み200万円増とした。 職3人のほか事務局長の手当てを 管理費のうち給与手当は事 当初からマイナス 最終的に赤字 修繕 今 務

臼木博信会員 経費節減へ一段の努力を $\begin{pmatrix}
1 \\
2 \\
4 \\
1 \\
6
\end{pmatrix}$

会報

Щ ていかなければならな 代わりするなど、 べきではないか。 が加わる。 務局に3人いて、さらに事務局長 活動支出の22誓を占めている。 ネットを利用できる会員は、 かにも多い。管理費の56灯、 節減となる。もうひとつ。 そうすれば年間240万円の経費 節減できるとして、2000人が ことができる。 トで会報を読むようにしてはどう か。すでにバックナンバーは読む (給与手当) でも提案したが、 4人はムリだ。減らす 1450万円は、 1カ月100円を 事務局を改革 事務を会員に肩 インター 固定費 ネ

Щ

が

検討していきたい。 尾上会長 励ましありがとうござ います。貴重な意見として承って、

たい分かっているはずだ。 員が理解できない。 度の決算見込みを明らかにしてほ ら予算をつくる。今年度の見込み みがあって、それを参考にしなが 下河辺史郎会員(6019) がよく分かる。各委員会、支部 って予算をつくるのでは大半の会 来年度の予算を示せば、 「ただ、お金がない」と言 今年度の見込みは、 今年度の見込 今年は 今年

う事情があるのか。 年度はゼロとなっている。どうい ほしい。補助金収入は、今年度は のについては、きちんと説明して に両年度予算に大きな差のあるも また、たとえば補助金収入のよう 年度予算と並べて比較してほし 該年度の予算(決算見込み)、 残念だが、そのように来年は、 100万円を計上しているが、来 次 1,

ま最後のせめぎ合いをやっている 収支差額が予算で見込んだ398 助 入れて来年度予算を編成した。 ら事業計画を聞いた。それを組み 岡部常務理事 各委員会、 ところだ 万円の赤字で収まるかどうか。い った。今年度の見込みだが、当期 口 万円の予算を組んだが、実際は だった。その代わり寄付金があ |金については、今年度は10 支部 補 ゼ 0 か

ない。 長を置くよう指示されているわけ 尾上会長 文部科学省から事務局 れば、無給の事務局長でどうか。 学省が言うから、そうせざるを得 ないということなのか。 には事務局長が必要だ、 安間荘会員 「事務局長」 決定しているわけでも (5 5 7 6) というのは そうであ と文部科 公益法人

> などに必要となる人件費と考えて 新法人への移行のための書類作成

期中の会計管理を厳格に

いるか。 いるか。 か。 ピュー について、お金の流れはつかんで 監査は、 予算管理月報に基づいて説明して の議案として初めて知った。 は相談したのか。 たがつくったのか。財務委員会に 村井龍一会員 会長に聞きたい。予算案は、 ターで簡単に出るはずだ。 上半期ではどうか。 理事会に四半期ごとに、 半期ごとに実施している (5 0 9 1) 私は、 この総会 宮崎副 コン 収支 どな

いない。 監査は年 切っては、 には、つかんでいるが、 に相談したかどうかは、 事を中心にまとめる。 宮崎副会長 お金の流れは、 ・度末になって実施してい そういう形で、期を区 把握していない。 予算案は財務担当 財 予算管理 おおまか 務委員会 承知して 会計 理

長会議にも説明していない。伝票 ことでいいのか。 100對近いというのに、 会費収入が収入全体 評議員会や支部 そんな \dot{O}

ている資金だ。

今年は、

預金ではなく、

0 0) チェックはやって チェックはどうか る か、 現 金

ない。 いる。 に実施している。 岡部常務理事 日ではないが、 現金チェックは監査のとき 伝票のチェ まとめてやって 毎日はやってい ツ クは

村井会員 円だった。計算すると、 今年度の期首繰越残高は435万 万円ぐらいかかると推測できる。 全体で、1カ月にだいたい400 義に使われるのはいいが、 る。JAC-YOUTHなど有意 た。ずいぶん、 の会務報告を1年間読み返してみ せていただいた。また会報 理 事会の議 お金がかかって 事録 残高は4 山岳会 を読 Щ

いが、 ~

3月は足りなくなった。

そこで 岡部常務理事 前年度も、 か。積立金を取り崩しているのか までの3カ月間、どうしているの 1月は足りなくなってくる。 5~6月は会費収入があるので 月でなくなってしまうことになる。 12月で収支トントンとなり 実は2 3 月

> く会費が入ったとき全額 戻すこと

知っているの 事のみなさんは、 画準備金と終身会費積立金だ。 登山基金を取り崩すことはできな いだろう。 村井会員 使うとすれば、 秩父宮記念基金や こういう実態を 長期計 海外 理

基金取り崩しに規定整備

は、 かで、検討を進めている。 ていきたいと考えている。 諸規定のなかに織り込んで整備 しの規定はまだできていない 藤本慶光副会長 新しい法人改革への作業のな 基金の取 取り崩 り崩 ので、

で足りるかどうか。終身会費積立 長期計画準備金を取り崩した。定 普通預金で持 それだけ としての積立金で、 予算の執行が執行理 その範囲内に納まるということで、 予算にしたがって執行していけば は義務づけられていない。 場から説明させていただきたい。 わり予算が義務づけられており、 く変わった。この会計基準によれ 公益法人会計基準が3年前に大き 士として、経理を手伝っている立 吉川正幸会員(7345) 月次決算あるいは四半期決算 また終身会費積立金は、 預金勘定を分 事の責任とな その代

金を使うことを考えている。

```
4月~11月
          夜叉ヶ池を守るパトロール(福井)
                                            (社)日本山岳会 平成23年度事業計画書(主な事業)
          私たち県民の森林づくり(岐阜)
  4月~12月
                                                      平成23年4月1日~平成24年3月31日
          ふるさと登山道整備事業(石川)
  4月~12月
  5月~9月
          山岳レインジャー活動(山梨)
                                           1. 公益目的事業
          久住山開き清掃登山(東九州)
  6月4日
                                            (1) 登山に関する文化・学術の振興事業
  6月11日~12日 自然保護全国集会(自然保護・福岡)
                                             4月~11月
                                                     ミニ水力発電装置運営(山研・ミニ水力発電運営)
          大平山山開き清掃登山(秋田)
  6日
                                                      「山岳」106年(2011年)の発行(山岳編集)
                                             5月
  6月、7月
          登山道整備(福島)
                                             6月15日 英文ジャーナル (Japanese Alpine News vol.12) の発行
6月4日~5日 第65回ウェストン祭 (上高地) (信濃)
  6月、7月、2月 宮崎水源森づくり育林活動(宮崎)
6月、8月 植生回復事業(福島)
                                                      全国大学山岳部実態調査(学生)
                                             7月
  6月~9月
          高山植物盗掘防止事業(北海道)
                                                     海外登山助成金の審査・交付
第15回全国山岳博物館等連絡会議 (資料映像)
                                             7月、2月
  6月、9月
          白神山地ブナ林再生事業(青森)
                                             10月
  6月、9月、12月 森つくり実践活動(埼玉)
                                             12月3日
                                                      第13回秩父宮記念山岳賞
  7月5日
          高山植物盗掘防止パトロール(青森)
                                             通年
                                                      会報『山』 791号~802号の発行
  9月 自然保護シンポジウム(埼玉)
10月29日~30日 第15回森の勉強会(京都)
                                             通年
                                                     図書室の整備・研究(図書管理・図書)
                                                     登山資料・山岳絵画の整備(資料映像)
「山の日」プロジェクトの推進
                                             涌年
  3月25日
          英彦山清掃登山(北九州)
                                             通年
  春季、秋季
          森づくり(福井)
                                            (2) 児童・青少年の育成事業
  通年
          森林観察道建設など「国際森林年 | 記念事業 (東海)
                                                     障害者登山支援(埼玉)
                                             4月17日
  通年
          大山横手道上ブナを育成する会(山陰)
                                             5月
                                                     小学生と高尾山観察登山(東京多摩)
  通年
          高尾の森づくり
                                                     JAC会員と一緒に登ろう(山形)
                                             5月、9月
  通年
          猿投の森での調査活動(東海)
                                                      青少年体験登山大会(東九州)
                                             7月24日
  通年
          藤尾の森つくり(京都)
                                             7月~8月
                                                     第12回自然児学校(北海道)
  涌年
          大山頂上の保護事業(山陰)
                                             7月
                                                     少年少女登山教室(青森)
  通年
          森林保全巡視活動(北九州)
                                             8月
                                                     第14回子ども登山教室(宮崎)
(6) 国際交流事業
                                             8月
                                                     自閉症児の療育キャンプ(山研)
          日中韓学生交流登山(韓国開催)(学生)
  7月
                                                     身障者登山(青森)
                                             8月
(7) その他目的を達成するための事業
                                             11月13日
                                                     第18回視覚障害者支援登山大会(東九州)
  山岳遭難の予防と対策に関する関係団体との協議
                                                      東海学生山岳連盟への支援活動
                                             秋季
  国内関係団体(日本山岳協会、東京都山岳連盟、日本勤労者山岳連盟、日本山岳ガイド協会、日本ネパール協会、日本ヒマラヤ協会、日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト、日本山
                                                      家庭裁判所短期少年補導委託登山(宮崎)
                                             年2回
                                              未定
                                                     福祉登山(宮城)
                                            (3) スポーツ及び登山に関する教育・啓蒙事業
  岳文化学会)との連携
                                             4月10日、6月26日、9月、11月、1月
  海外登山団体との情報交換及び機関誌の交換等
                                                      第20~24回講演会(茨城)
  国内博物館・美術館との提携
                                             4月23日~24日 第30回深田祭(山梨)
  「上高地山岳研究所 | の運用
                                                     自然観察会(福岡)
                                             5月
                                             5月8日
                                                     播隆祭・記念登山(高頭山)(富山)
2. 共益目的事業(会員のための事業)
                                             5月14日、6月19日、10月1日、11月26日
 (1) 登山、集会、施設の運用等
                                                      分境嶺踏查山行(東京多摩)
  4月
          学生部所属大学山岳部新入部員歓迎会(学生)
                                             5月15日、6月12日、7月31日、8月27日、9月18日、10月30日、2月19日
          伊豆大島探索山行(科学)
  5月
                                                      日本山岳会員と山に親しむ会(静岡)
  5月、11月
          講演会語り継ぐ日本山岳会の歴史(資料映像)
                                             5月22日~23日 海のウェストン祭支援事業(越後)
  6月4日~5日 新入会員のための徳本峠越えとウェストン祭(山研)
                                             5月28日~29日 泰澄祭(福井)
          クライミング集会(学生)
  7月
                                             5月、7月、9月、11月、1月、3月
          第3回欧州アルプス山行(集会)
  7月
                                                      海外登山ドキュメント映画全国巡回上映(海外)
  7月
          第20回山を語る(図書)
                                             5月、6月、7月 岩登り・沢登り講習会(JAC-YOUTH・青年・学生)
  9月
          ナンガパルバット・トレック(集会)
                                             5月、9月
                                                     第6、7回登山教室(熊本)
  9月
          チベット未踏峰登山(福井)
                                             6月、11月、12月 机上講習会 7 回 (JAC-YOUTH・青年・学生)
6月11日~12日 今西レリーフを守る会(京都)
          日本アルプス山行(集会)
  9月
  10月15日~16日 第27回全国支部懇談会(宮城)
                                                     第7回山の博覧会(山梨)
                                             7月10日
  10月30日
          第40回山岳史懇談会(図書)
                                             7月25日
                                                     第54回高頭祭(越後)
  10月
          5支部合同懇親山行(岐阜)
                                             7月
                                                      夏山登山の夕べ(栃木)
  11月
          新入会員オリエンテーション(総務)
                                             9月
                                                      藤木祭(関西)
          学生部所属大学山岳部マラソン大会(学生)
  11月
                                             10月16日
                                                     第52回木暮祭(山梨)
          平成23年度年次晚餐会(総務)
                                                     第4回九州脊梁縦走登山(熊本)
  12月3日
                                             10月
  12月4日
          晚餐会記念山行(集会)
                                             10月
                                                      ヒマラヤの集い(栃木)
          アイスクライミング集会(学生)
  2月
                                             11月
                                                     第27回宮崎ウェストン祭(宮崎)
          第29回図書交換会(図書)
  3月
                                             11月
                                                     秋期講演会(栃木)
  冬季
          アイスクライミング研修会(東海)
                                                      岳人のつどい(福岡)
                                             1月
          インターネットホームページの運営(インターネット)
  通年
                                                     Winter Climber Meeting後援(JAC-YOUTH·山研)
                                             2月
                                                     シンポジウム「登山を楽しくする科学」(科学)
オホーツク分水嶺調査(北海道)
  隔月発行
          機関紙「木の目草の芽」の刊行(自然保護)
                                             3月
(2) 海外登山等
                                             通年
          ネパール・ヒマラヤ登山隊(海外)
  4月~10月
                                             通年
                                                     房総半島分水嶺踏香(千葉)
  通年
          学生によるルンポカンリ登山ほか(東海)
                                                     近畿分水嶺踏査(関西)
                                             涌年
(3) 会議等
                                             通年
                                                      登山教室(関西)
  通常総会の開催(2回)
                                             涌年
                                                      登山講座講師派遣(中国新聞社文化センター)(広島)
  理事会の開催(11回)
                                             年4期
                                                     NHK文化センター登山教室(東海)
  常務理事会の開催(11回)
                                            (4) 事故防止事業
  支部長会議(3回)
                                             6月15日、10月1日、1月28日 第 3~5 回安全登山講習会(埼玉)
11月 雪上訓練(JAC-YOUTH・青年・学生)
  支部事務局担当者会議の開催(1回)
  評議員会の開催(3回)
                                             12月~1月、5月 携帯メールで読める登山者のための天気予報(指導)
  委員長会議(3回)
                                                     雪崩研修(北海道)
                                             12月~2月
12月~3月
  同好会·同期会連絡会議(1回)
                                                      大山冬山パトロール (山陰)
                                                      雪山実地講習会 3 回(JAC-YOUTH・青年・学生)
                                             1~3月
```

(5) 山岳環境保全事業

2月

4月~7月 講演会·研修会開催事業(石川)

救助法講習会(埼玉)

_	*** E	T 0 6- 4- 7 66- 45	T D b - b - 7 bb br	136 3 B
	科目	平成22年度予算額	平成23年度予算額	増 減
I	投資活動収支の部			
	特定預金支出			
	終身会費積立金積立	200,000	0	-200,000
	退職給与引当預金積立	100,000	0	-100,000
	投資活動支出計	300,000	0	-300,000
	投資活動収支差額	-300,000	0	300,000
Ш	予備費支出			
	予備費	500,000	500,000	0
	当期収支差額	-3,980,000	-1,000,000	2,980,000
	前期繰越収支差額	6,456,806	2,476,806	-3,980,000
	次期繰越収支差額	2,476,806	1,476,806	-1,000,000

として考えてきた。 産にせよ、 だ。ただ、 積立金の取り崩しなどについての 橋本清会員 違反していることにはならない。 崩したからといって、法令などに だくことになるが、これらを取り ったお金であるということを基本 会計基準は、 会費収入にせよ基金財 いずれも会員から預か (6 0 6 6 6) 分かっているつもり だから、 終身会費 取り

だが、

新法人に移行すれば、

より

きたということもまったくないの ントリーにやってきて、不正が起 ジェントルマンを大前提に、

ジェ

新しい執行部に申し送りたい。 きちんとやっていくようにした 厳しくルールにのっとって管理を

めて、 意見をいただいた。日本山岳会は、 尾上会長 ということを理解してほしい。 鑑の管理、 るいは理事会に諮ってほしい。 崩す場合は財務委員会に諮る、 大変だが、 大変熱の入った貴重な 伝票チェックなども含 会の財産を守る 印あ

構わない。

長期計画準備金は使途

で現金と同じこと。取り崩しても けるということで分けているだけ

目的がないので、これから議論し

て積立・使用基準をつくっていた

平成23年度 収支予算書

平成23年4月1日~平成24年3月31日

A	T 0 4 - 4 - 7 44-47	→ 0 to do → the to	124 2 0
科目	半成22年度予算額	平成23年度予算額	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入 基本財産利息収入	15,000	15 000	
	15,000	15,000	0
会費・入会金収入	0.000.000	0.400.000	400,000
入会金収入	2,000,000	2,400,000	400,000
通常会費収入 終身会費収入	57,628,000 100,000	57,388,000 100,000	-240,000
会費・入会金収入計	59,728,000	59,888,000	160,000
事業収入	33,720,000	33,000,000	100,000
広告料収入	1,500,000	1,500,000	0
印税収入	0	0	0
刊行物売上収入	200,000	100.000	-100,000
山研使用料収入	1,700,000	2,000,000	300,000
その他事業収入	1,200,000	600,000	-600,000
事業収入計	4,600,000	4,200,000	-400,000
補助金等収入			
補助金収入	1,000,000	0	-1,000,000
維収入	,,		0
受取利息	300,000	60,000	-240,000
雑収入	1,200,000	700,000	-500,000
雑収入計	1,500,000	760,000	-740,000
事業活動収入合計	66,843,000	64,863,000	-1,980,000
2. 事業活動支出			
事業費			
出版事業費	10,400,000	10,400,000	0
図書管理事業費	180,000	180,000	0
調査研究事業費	2,360,000	1,290,000	-1,070,000
指導研究事業費	400,000	500,000	100,000
支部事業費	8,000,000	8,000,000	0
海外事業費	150,000	150,000	0
山岳研究所事業管理費	3,500,000	4,000,000	500,000
ミニ水力発電運営費	80,000	80,000	0
海外登山補助費	1,500,000	1,500,000	0
その他事業費	9,000,000	9,000,000	0
印刷・製本費	500,000	500,000	0
刊行物発送費	4,000,000	4,000,000	0
事業費計	40,070,000	39,600,000	-470,000
管理費	10 500 000	14 500 000	0.000.000
給料手当 本見巡転日弗	12,500,000	14,500,000	2,000,000
文具消耗品費	100,000	100,000	0
印刷・製本費	1,200,000	1,200,000	0
旅費交通費 通信運搬費	700,000 650,000	700,000 650,000	0 0
		l '	
火災保険料 修繕費	183,000 3,000,000	183,000 100,000	0 -2,900,000
租税公課	880,000	880,000	0
光熱水道料費	620,000	620,000	0
電話料	300,000	300,000	0
会議費	100,000	100,000	0
什器備品費	300,000	300,000	0
振替手数料	650,000	650,000	0
福利厚生費	1,600,000	1,600,000	0
事務所管理費	1,500,000	1,500,000	0
その他管理費	1,800,000	1,800,000	0
負担金	30,000	30,000	0
賃借料	3,240,000	0	-3,240,000
維費	600,000	550,000	-50,000
管理費計	29,953,000	25,763,000	-4,190,000
事業活動支出合計	70,023,000	65,363,000	-4,660,000
事業収支差額合計	-3,180,000	-500,000	2,680,000

緊急レポー 東日本大震災の被災現場から

希望の灯火

内山達雄 (岩手支部長)

が倒れてくるなかで必死の思い れに、5分ほどハザードランプを つけて駐車していましたが、 を運転していました。あまりの揺 3月11日午後2時46分、 私は車 電柱

軽々と越えてしまったのです。 を思わせる防潮堤が築かれていま さ24㎡、高さ10㍍の「万里の長城 験から、宮古市田老地区には、長 の犠牲者を出しています。その経 今回の津波はこれをいとも簡単に にも防潮堤が築かれていましたが、 15 地震災害を経験しています。 した。釜石湾、 1968年のチリ地震津波はひど .もので、岩手県沿岸で142名 岩手県はこれまでにも多くの 大船渡湾、 宮古湾 特に

> です。 とが報じられていました。宮古市 ともしました。 ふれる競りが被災地に希望の灯を の魚市場が業務を再開し、 あり、宮古魚市場が再開されたこ 21名、 死者3796名、 ただ4月12日づけの地元紙 まとめによると、岩手県内での 達増岩手県知事は、県民が力を 「水産の街 月10日現在、 恐ろしいことです。 合計8517名とのこと 復興の灯火!」と 行方不明者47 県災害対策本部 活気あ 15

発表しています。 う「がんばろう**!** 合わせて復興に取り組むことを誓 希望の灯火」が見えてきました。 少しずつですが 岩手」宣言を



津波で大被害に遭

に通じない状態でした。 水もすぐに汲んでおくよう妻に指 行動を制しました。 に声がけをして、外に出ようとの も感じました。妻に落ち着くよう まず市内の親族の安否確認 電話をとりましたが、

電気が止まり、

える被害であることを認識しまし のを見て、体験や記憶を大きく超 大な被害が目の前に広がっている 旧活動を経験した私でも、その甚 した。仕事柄多くの自然災害の復

髙橋二義(宮城支部長)

大震災の襲来と秋の全国支部懇談会

っていたときでした。微かに揺れ 3月11日、私がパソコンに向 2日前の余震かと思ってい 今日も来たかと地震を直 か

た。これは余震などではない、 の揺れの大きさに肝を冷やしまし たところ、 よいよ宮城県沖地震の襲来か…… 間もなく本震がきてそ £ ,

幹線の設備が大きく波打ち、

電

柱

傾き被害の甚大さを感じました。

ラジオは、

地震直後から興奮

した。途中、

国道を越えている新

過できず、迂回して幹線を急ぎま ファルトが山状に盛り上がって通 たるところで、

大きく波打ちアス

急ぎました。地震直後の道路は

13

10 | 以以上の津波警報のうえ海岸 囲よりやや高い4㍍でありますが り返し報じておりました。

若林区東方にある親戚

が

心

..かいました。ここは標高が周

た調子で10点以上の津波警報を繰

と励ましの連絡をいただき、 部長や友人から安否と現状の確認 に元気づけられました。 電話などで、本部はじめ全国の支 ました。その後、メー 話があり状況を問われ、 して何か支援できないかと聞かれ 翌 14 日 0 朝、 神崎副会長 ルや手紙 登山界と から電

務局にもメールを発信しておりま の安否確認を繰り返しました。 !信が繋がりにくいなか、 と強い揺れが2度加わったように

と直感しました。

本震の長いこと、

途中

から一

段

ことができませんでした。

畑、

田圃を問わず、

周囲

は広範囲に運ばれたがれきの山

くの樹木などの漂着物で、近づく 定、津波で運ばれた家屋や車や多 ないところなので心配です。 ら約2・5 サ」くらいしか離れてい

も職場も高台で無事でした。しか し、連絡の取れなかった常磐線山 し、連絡の取れなかった常磐線山 し、連絡の取れなかった常磐線山 さんのところにいるとの連絡をも らい、支部会員の全員がなんとか 命だけは守りとおしたことを報告 できました。

そして今年は10月に全国の 方々を栗駒山に迎える大きな企画、 第27回全国支部懇談会」があり で大きな被害があり、2年間入山 規制がありました。

ております。全国の皆さま、紅葉地備活動を進め、全国の方々に楽地の元気な姿も確認していただけ城の元気な姿も確認していただけっただととらえて進めたいと考える機会ととらえて進めたいと考える機会ととられている。

ってください。の見事な栗駒山にぜひいらっしゃ

多くの危機管理感覚や備えが功を害でしたが、登山活動で学び得たろの生活、それを破壊する自然災あまりにも便利になった日ご

うございました。
舞いや、励まし、本当にありがとます。皆さまからいただいたお見を楽しんでいきたいと考えておりを楽しんでいきたいと考えておりる山や自然のなかに身をおき、山奏して守り得た命です。これから

奥会津のブナを訪ねてください風評被害」に惑わされず、

前支部長の千石さんは、幸い自宅

まのメッセージを各支部員に伝え き、誠にありがとうございました。 さま方から応援や励ましをいただ アをしているという会員もおりま くされ、 家が被災し、避難所生活を余儀な てあります。 人的被害はありませんでしたが、 今回 支部総会の通知とともに、 0) しかもそこでボランティ 東日本大震災では、 幸い、当支部員には 皆さ 皆

大地震直後、福島県山岳連盟大地震直後、福島県山岳連盟のほとんどが営業を停止しており、平均年齢67歳の支部員には、り、平均年齢67歳の支部員には、の、平均年齢67歳の支部目には、り、平均年齢68歳の支部目には、いっ元気のある者はおりません。

加盟団体には、岳連会長を通じ、加盟団体には、岳連会長を通じ、がしてあります。会員の方々も、いしてあります。会員の方々も、こちらの山に来られることがあれて、ぜひご協力ください。特にGPSをお持ちの方は、「座標の計を通り、

4月になり、福島県では観光スの観測です。ご存知のように、福島県は「農業」と「観光」を目玉はガラガラだろうというのが地元はガラガラだろうというのが地元はガラガラだろうというのが地元にしており、「風評被害により、令年にしており、「風評被害」にはほと困っているのが現光です。

福島県の総電力量の大半が関東圏に送られていることは、皆さ東圏に送られていることは、皆さ東のであり、東京電力のの繋梯の湖沼群の「利水権」は東京撃がなければ、地元では一滴の水と使えません。

長

くいます

入学、転校する子どもたちも数多

よろしくお願いいたします。ので、皆さま方の心温まる応援を、う」を合言葉に行動しておりますう」を合言葉に行動しております。災が同時にきましたが、「頑張ろ災が同時にきましたが、「頑張ろ

話はとびますが、福島県奥会津地方(新潟県境に近い地方)の、地方(新潟県境に近い地方)の、がつうえに、風評被害もあるだろうし、事故のあった福島原発からも、100~150㌔ぐらい離れております。ご一考いただき、ぜております。ご一考いただき、があいます。ご一考いただき、ぜいお訪ねください。

東日本大震災と日本山岳会の対応

震災救援募金委員

後の見通しは混沌としている。 電所の事態収拾と放射能汚染の今 た。心配されていた福島原子力発 れるいのちと多数の家屋が失われ し寄せ、2万8000人とも言わ 太平洋側の長い海岸線に津波が押 この未曾有の災害に当たって (上が経った。大地震とともに 日 本大震災の発生から1カ

援するための義援金募集だった。 認であり、②被災者、被災地を救 地に住む会員とその家族の安否確 緊急を要したのは、①まずは被災 日本山岳会はなにをなすべきか。

安否確認について

に復旧し始めた電話やメール伝送、 インターネットによって、 混乱する通信事情のなか、 3 月 25 徐々

> 青森、茨城を加え、地震と津波に の支部長や事務局長が中心になっ 住む会員はざっと40人。それぞれ よる被害が最も心配された地域に いないことが確かめられてほっと 日までに、会員の犠牲者は一人も て情報を集めた。 した。宮城、岩手、福島の3県に

被災地支部からの日々の情報がJ 義援金について ACのホームページに掲載された。 この間、 安否確認を中心とする

募金委員会」(メンバーは常務会 常務理事会では17日に を折り込んでから1カ月である。 者、会員の救援に義援金のお願い」 の6人)を立ち上げ、ただちに 会報3月号に尾上会長の 「震災救援 「被災

募金のお礼

長

尾

上

昇

状況をお尋ねいたしましたところ を受けられた各支部の支部長様に 申し上げます。地震や津波の被害 害は及んでいなかったとの報告を 幸いにも会員の皆様方に人的な被 れました皆様に、改めてお見舞い 今回の東日本大震災で、 罹災さ よう、

受けています。

員会からの報告のとおり、短期間金のお願いをしましたところ、委五人のでは、早速、義援金の募 申し上げます。 厚志を賜りました。衷心よりお礼 ので、引き続きご協力を賜ります は、6月10日までとなっています に多くの会員の皆様から多額なご 願い申し上げます。 なお、募金の期間

> までとすることが決まった。 立は3月23日の理事会で事後承認 が集まっている。募金委員会の設 5 うちょ銀行」に募金口座を開設 間で、 届きはじめ、 振り込みは連休明け 同時に募金期間を6月10 200人から320万円 4月13日までの20 が 22 日 日

赤十字社に寄託するなどの方法を このお金をどう使うのか。 今後の理事会で最良の方法 日 本

を検討したい。

【義援金振込先】

銀行」に送金する場合 7 3 1 3 8 8 1 総合口座(記号10050)番号 銀行」に送金する場合 * [他の金融機関]から 本山岳会震災救援募金委員会」 「ゆうちょ銀行」から 加入者名 ゆうちょ ゆうちょ 日

 $\begin{smallmatrix}7&3\\3&1\\3&8\\8\end{smallmatrix}$ 店番〇〇八 普通預金 加入者名は同じ。 口座

・関東の支部長からの応援メッセー

すが、がんばってください」 ひと安心です。これからも大変で きました。会員の安全が確認でき、 後にようやく連絡がとれ、事務局 したが、通じませんでした。数日 の各支部に安否確認の電話をしま 、お見舞いを申し上げることがで 「隣県の青森、岩手、 宮城と福島

(秋田支部長 佐々木民秀)

忍耐力、 大震災の経験も踏まえ、 の災害ではありますが、 お悔やみ申し上げます。 犠牲になられた方々には衷心より に心からお見舞い申し上げます。 「東日本大震災に被災された方々 底力でもって英知を集め 日本人の 阪神淡路 戦後最大

す

(千葉支部長

これからも紆余曲折はあると思 て力強く復興していきましょう。 題を解決して必ずや新しい日本が 建設されるものと思います」 ますが、一歩一歩の歩みで山の頂 に達するのと同様に、一つ一つ問

(茨城支部長 星埜由尚

心と体を元気づけてくれる不思議 まに心よりお見舞い申し上げます。 れた仲間を皆で励まし合う『激励 な力を持っています。山でつなが し上げております。 1日も早い復旧、復興をお祈り申 東日本大震災で被災された皆さ を企画しようと考えていま 山は私たちの

長のナジール

サビールさんから

は

成

功

ĺ

ました。

おなじみの前パキスタン山岳会会

文で紹介します。

1つは日本でも

国

台湾

などからです。

できるだ

ランス、

インド、 ストラリ

キスタン、

中

オー

Ź,

スイス、

イタリ

ドイツ、オーストリ

イ

ージーランドをはじめスペイ

け丁寧に感謝の意を伝えました。

その代表的な例を2つだけ原

中

ミック 盟 とジャー 原発事故 震とその ました。 英国 日本の Û Ħ ア (() アルパインクラブ会長 11 ナル 直後 ·AA) 役員、 ファウラーさんや役員の É メリカ山岳会の主要会員 電話もい に関 Ш 日に起 ヹ に編集長、 \hat{o} ールが80通ほど届 間に対する温 じ て、 津波災害、 きた東 ただきました。 海外 ポーランド、 国際山岳連 Ħ ゟ 本大地 友人か および か £ \$ お

> が J 返信をしました。 ACを代表して丁重に感謝

嬉しか 通もの 在住の ショ きで20 るときは 2度電話をかけてきました。 長でJAC名誉会員の 力者など数人い カパディ イン ŀ ス ジ と言ってきてくれた友人は、 ィアさん同様、 ラヤン・ジャーナ ナ 兼 . ∃ ンド・ムン チ メー ル Ш チ セ Ш ったです。 フ・ 09年の ベット族 . . 岳ガ ユ |岳図書館 自分のところに アさんは安否を気遣 ジオ ルがきまし 1 1 ij パイテュビさん、 .ます。 Ė 'n グラフ いガイ 日本 東チベ ヒ (バル 1 彼 ĺ ア \bar{O} 在 σ F た 中 1 X 金 から避難す 11 名誉 リシ ッ 有 Ö が IJ セ 住 玉 ツ 融アナリ 来てほし カの \mathbb{R} 能 心 ク 口 0) か ら幾 の協 ラ ナ な 配 力 ユ ス Ť 働 は サ L

な牧場を経営してお 著名 娘です。 異 一色は 彼女は富豪ロ な 登山 英 北ウエ 国 家 ア ル \mathcal{O} 1 ス 奥 j チ さ 1 ズ ヤ h ン 1 で大規模 か ク ル ラ 5 F で 家 ブ

ジーランド

からです(下)。

ニュ

1

ランド山

|岳会会長には尾上会

、大地震の余燼冷めやら

á

ユニュ

もう一つはクライ

・スト

チ

ヤ

1

"We are shocked to hear a catastrophe of huge jolt and Tsunami that has shattered the normal life in Japan and killed thousands of people while numbers of survivors have been made homeless and thousands are disappearing. We are very sad about the loss of precious lives and pray for eternal peace for the departed souls. This is the worst ever natural disaster in the history of Japan since after World War II. We are watching the situation with lots of worry as aftershocks are carrying on and with much concern for nuclear crisis of the Fukushima plant. We are praying for safety of yourself, your family members and all of our mountaineering friends. Nazir Sabir (12/3/2011)"

"Hope you, your family and friends are coping OK with the earthquake and tsunami in Japan. We hope that yourself and members of the Japanese Alpine Club have not been badly affected by this natural disaster. Our president Peter Cammell sends this message: [On behalf the New Zealand Alpine Club & all it's members we wish to convey our deepest commiseration to the people who have been affected by the earthquake & tsunami in Japan. Our thoughts are very much with you. Peter Cammell, NZAC President.] (17/3/2011)"

10 チセン の 帰つ 極半 起こりませんでした」(実際には 波警報は出されましたが、 ŧ 3 あ 衄 O世 'n 力 U るど たか 話に ぼうですが Ш Ι 島 味 登 ク ゴ家・ 津波が記録された)。 岳会とU で A 深 ル・ ば 0) な フ いも かりです。 クライミングの旅 りました。 ア 創 パ 写真家からの ウ のでした。 設に尽力し 1 Ι ラ ニッ A A O 1 ナムさんはぶ ·夫妻 南極にも津 オー 名誉会員 ع たア 何事も メー ス クリン から 1 緒 X 南 ル IJ 1

地

震発生直

一後から

時間

の経

過と

お

見舞

į ,

0)

E ×

ールの

1

1

したと伝えてきました。

いち早く米赤十字に義捐 あるラウエル天文台の館

金を 長で

ともに変わってきました。

福島原

の関

心の的

になった

ŋ 一前に きら か さんの友人の 山 け 岳会名誉会員に推挙してくれ てくれ、

4

车 せ

前に私をアメリ

か、

私を気に

スを心

配 ル

じ 0)

į

ま

Ε

ヌー

多くは 7

放射

クライシ

からです。 発事故が世

10 界

日ほど経

つ

た以降の

寄せられています。 心を打たれ 世 界 0 世界から温 登 ます。 山界 0) 被災され 篤 13 友 情 た皆さ

出で、

アリ

ゾナ・フラグス

ハタフの

ま

L

た。

パ

ŀ

ナ

4

さ

h

は

名

 \mathcal{O}

カルチャー

梅棹流 「知的生産」 の現場が再現された ウメサオタダオ展 知的先覚者の軌跡_

神長幹雄

いる。 ら6月14日まで同館で開催されて 忠夫さんの偉業を偲ぶ特別展 国立民族学博物館初代館長、 メサオタダオ展」が、3月10日か 昨年7月、 90歳で亡くなられた 梅棹 ーウ

棹さんは、生態学から民族学、 会員番号3963だった。 山岳会の名誉会員に推挙された。 較文明論へと幅広く活躍した。 「知の探検家」として知られる梅 梅棹さんは、 1995年、 日本 比 同



産の現場」が目に入ってくる。 の技術』が生み出された「知的生 棹さんが駆使した7つのツール れ 梅棹さんの考え方なども考慮に入 かから、「人類の未来」を見通した が保存されている。その資料のな プ、スケッチ、日記など膨大な資料 館には、 展示されている。 ード」「手書きカード」「こざね法 ィールドノート、 「スケッチ・写真」が、 「フィールドノート」「ローマ字カ 一件ファイル」「アドレスカード 特別展示館の1階入口を入る まず中央に、名著『知的生産 約500点が選ばれたという。 その梅棹さんが残したフ 写真、 直筆のまま 記録テー 梅

果が、 洋とアジア」「日本研究」 だが、会場には「山と探検」「中 を文章にまとめていった。 を最大限利用して、 著作集全22巻として結実したわけ 梅棹さんは、この7つのツー 1989年から刊行された 論理的な考え 「比較文 。その成 ル

> 明学」などのテーマごとに、 なっている わかるようで大変興味深い展示と 文章まで、 ルによる整理法、そして著作集の 写真などの素材から、 が展示されている。 の文章とともに写真や手紙など 梅棹さんの思考経路が 実際のメモや 7つのツー

容である。 のコメントなど盛りだくさんの内 中心に、刊行された書籍、 歳までの「ウメサオタダオ年譜」を 吹き抜けの2階は、 0歳から 対談者

れます」と言う。 生みだす人生の出発点がうかがわ 記録ぶりは、 されています。 ときの登山記録やスケッチも展示 同 .館教授は「展示場には、 実行委員長である小長谷有 探検や旅から思想を その克明で濃密な 12 歳

企画展 民族学者 また常設の博物館では、 梅棹忠夫の眼 同時に



特別展示館前の案内

ている。 ジアを中心にした民族写真46点が 影した膨大な写真のなかから、 やや長めの文章とともに展示され も開催されている。 梅棹さんが撮 ア

ている。 場の至るところに十分に展開され 注いだ梅棹忠夫さんの魅力が、 インコグニチ)に限りない情熱を 「未知への探求」 (デジデリアム・ 会

トも開催。 76 - 2151国立民族学博物館は水曜休館 合わせは、 講演会などの関連イベン 観覧料一般420円 同館 06-68

Ν だ干潟が広がっ

小網代の森 祖父川精治

がある。 どの建設計画が持ちあ 路線の延長やゴルフ場、 残っている。 海と一体化した多様な自 といわれてきた 半の土地がその会社の所有である ŧ よる住宅地やリゾート開 いえる森が、 半島 経済効果は年40 の先端部に奇跡的 Щ 地元のA電鉄に 湿地、 がったこと 億、 怒形 ホテルな 発として 森大

豊かな森を訪ね歩いてきた。 はアマモが繁茂し、 域から河口まで手つかずの自然の 森の中央を流れる浦の 月1回は手軽に楽しめるこの自然 なかは歩道も定かでなくヌカルミ 首都圏からも近く、 長靴の着用が必 そして、 栄養分に富ん 20年前 萴 遠浅の海に 須 集水 森の から

S

暮らす表徴的な生き物であるアカ てしまう。 育ったら、 のため暗闇の干潟へ下りてくる。 テガニが知られている。盛夏大潮 夜 度に数万個を産卵するとい 森のなかには、 もしこれらがすべてが無事に メスは腹に卵を抱え、 森はカニだらけとな 7 穴を掘って棲 放仔 わ

0)

仔直後の幼生 その食物連 タカ、ミサゴが待ち構えている。 の水鳥を狙って、 など水鳥が食餌に舞いおりる。 てボラなどの小魚が集まっ である。 る。それら魚の群れを、 そこは自然の摂理というか、 |鎖の生態系が実に見事 (メガロパ) 頂点に立つオオ アオサギ を狙 てく そ 放 つ

県では、 なわれていたことになる。 これらの自然形態がすべて失 画どお 貴重な自然環境が残って n 開 発 が進 h 神奈川 で 15 れ

2

ŏ 7

(平成

19

)年 11

月

会員の皆様のご意見、エッセイ、 俳句、 短歌、 詩などを掲載する ページです。 どしどしご投稿く ださい。(紙面に限りがありま すので、1点につき1000字程 度でお願いします)

北海

道

新 妻 徹

心に太い絆が感じられた。

か。1年間に 回の山行で実現できない で10キートレースできれば、 約1000歳として、 5 う南端の 9 6 1 北 間で縦走できないかと考え、 海 道 |襟裳岬」 の最北端 10回 までの 1 回 谷 10 主脈 岬 0 山

完了したといわれ ほかに寄付や自主的 網代の森、 すべての 森の用 約70%を購 . る。 地 な保全に 取得を ステー 0)

る小

という。 保全に成功したといわれている。 676紛(204万坪)を購入した 重県大台町の宮川水源域の全森林 体が約1億円の寄付金を集め、 報によれば、 スト運動が盛んである。 歴史的な環境を買い取り、 (々のため永久に守ってゆくト 全国各地では、 わが国では最大級規模の 兵庫県の自然保護団 豊か な 最近の情 将来 自 然 ラ 0

代に日高の山旅を経験しており ら北上する案もあったが、 から南下した。 (昭和36) の山行として 年1月に3名 だろう 蒔 か 0 行 を か

> と若い発想であ まず歩いてみて、 未踏峰 ジとした。 の多 ŋ 日高山! 今になってみる 11 高齢になって 0 脈は最終 Щ

苦労の多いMT

(メイン・

ŀ

ス) になってしまった。

に入るという痛快無比の話 11月号で、 記録を中間報告したが、 もしろさと仲間にサポ 行の人が冬山を体験し、 れている」と紹介された。 会『山』 6 第48次MTでは参加 北海道支部20周年記念誌 名寄・札幌・帯広の人脈を中 4名となり、 夏山の日 第47次MTで大雪山 の1988 (昭和 「愈々大雪日 一高の縦 ートされ 縦走のお 延 日本山 人 で飾 帰り 63)年 『ヌプ 数 一系の Ш が

記録』を発刊し、 央分水嶺踏査」に際しては、 の任務を満了し、 北海道支部40周年記念として平成 MTは日高山脈の南部に達してお 「中央分水嶺踏査」に集中した。 Tを再開しようと思ってい 日 平成16年から3年間中断して 本山 月『北海道中 ·岳会100年記 10年間 残っている私の 央分水嶺踏査 の支部長 念 私 中

を分けあった仲である ンと熱くなった。藤本氏とは中央 壇上伽藍で副会長の藤本慶光氏と 忌で四国八十八寺を結願し、 5つの葬儀があり、 分水嶺踏査の企画の段階から苦労 海道支部の4名が不帰の人となっ 付 山に報告の参拝をした。そのとき 、ットク山の安政火口壁・化 |国巡拝の遍路を経験した。 妻が、その4日後に昇天した。 正午ごろ、 近から発生した大雪崩 さらに、癌で入院してい 緊張が解けたのか胸がジー 十勝連 その後、 峰 Ė ホ 三回 高野 私は た私 物岩 口 力

ど)はトレースしたが、 ペテ 歳)としては最難関と思ってい 6・2 ㍍) から神威岳 ・5½)への主脈が、私の年齢 日高山脈でペテガリ岳(173 ガリから中ノ岳 $\begin{array}{c} \widehat{1} \\ 6 \\ 0 \\ 0 \end{array}$ 中ノ岳か 1519 る 80

は無理、 歳であったが、 ら神威北峰(ニシュオマナイ岳) 地図を見ている時間が多かった。 支部山行があり、 は高校の教頭・校長職で長期 リッジが私の課題である。 1493~ への積雪期のナイフ 宗谷岬 北海道支部長の10年間 をスタートした時は 50歳からの10 私のMTは家で 年 間 30 Ш は 行



書

難関と思われるペテガリ岳南面 (1736.2行)

0)

快無比山行」 50年間もさまよっていたことにな うな時に山行はできない。 も不幸がおきてしまった。 に包まれてしまった。私の知人に の東日本大震災で日本中が悲しみ 心して動こうとしたら、 今年の残雪期で完結させようと決 私のMTは10年計画だったが、 妻が笑顔で言っていた「痛 は夢なのだろう 3 月 11 このよ H

ウェストンと缶詰の空き缶 田畑真

明治35年8月、 ウェストンは北

> 芦安村(現在の南アルプス市芦 へとやってきた。 一への登頂を目指し、 Щ 「梨県の! ĺΗ

の前で、 とにした」 私は去りがたい気持ちで芦安をあ さい』と別れの挨拶をする中を、 を揃えて『どうぞまたおいでくだ 真を撮った。そして、 感あふれる記事がある。 かわいらしい子供たちの家族写 1918 (大正7) 『極東の遊歩場』 (田畑注、 名取さん夫婦とその5人 (水野勉訳 名取運一) を刊行。 みんなが声 年、 『日本アル 彼は著 の家

供たち」 き、 月のことだった。 322号) を試みた。 婦とその5人のかわいらしい子 私は記事にある「名 名取運一の子供」『山 の名前・年齢などにつ (拙稿 「ウェストンの愛 昭和60年 取さん夫 書月報 11

ことができた。そのエピソードは、 供たち」 関 と思われるエピソードを聞き出す 私は名取ある氏から、 あった「5人のかわいらしい子 【係するごく一部の方々だけ伝 っていた。なお、名取氏とは記 その後、年月が経過したものの のひとり、 名取運一 当時 の状況

男・在の直系姻族だ。

のお話だ。 再確認させていただいた。 伺 平成22年9月、私は名取氏宅 エピソードの内容につき、 名取氏

外国人に対する子どもらしい好奇 歳だったことになる。 明治21年3月18日生まれの静は14 時の年齢を特定した。その結果 ぞきにいったところ、缶詰を食べ ひとり、静さん(田畑注、名取運「5人のかわいらしい子供たちの 心があったと推測する。 籍謄本 めてみたとも、話していました」 来客が何を食べているのかと、 ていたとのこと。後で空き缶をな んは芦安村へやってきた外国人の の長女)に聞いた話です。 私は名取氏を通し、 (除籍簿)を入手。 私は、 関係する戸 静の当 静が 0)

自由ヶ丘に在住時代のことだとい かれたエピソードは、 缶詰の話にもどる。 名取氏のお話だ。 名取氏が聞 静が東京の

ます」とのことだった。 きましたのは、 お宅に伺ったときのことだと思 静さんに、 私ども家族が自 ウェストンの話を聞 昭和33年1月。 由 ケ丘 お

プス再訪』)

科学委員会

活

動

報

登山を楽しくする科学 大盛況だったフォ 1ーラム-

盛況、 200人の大教室はほぼ満員の大 でのフォーラムは3回目。 月5日、 参加者だった。 ャンパスで開かれた。このテー 登山を楽しくする科学Ⅲ 科学委員会主催のフォーラム 半分以上が会員以外の一 品川区の立正大学大崎 定員 が 般 3 7

は異なる山岳気象の判断の仕方を カラー写真とともに分かりやすく イザーの城所邦夫氏の 講演のトップは、 風や雲の動きから、 Ш 岳気象アド 観天望 平地と

登山 ギーに変わり蓄えられるかを解説 「アクティブライフを支える食 前 」として、栄養素がどうエネル 管理栄養 行動中と分けてどんな食 士の牧野千 歳 氏

> たらどうするか」を話した。 も交えて 医学的に解明した後、 と題して、 が登場、「足が攣る・原因と対策」 事が望ましいかを具体的に示した。 3人目は、 「攣らない方法」 足攣りのメカニズムを 外科医の箕岡 自分の体験 日本山岳会の 各委員会、同好会の 三穂氏 活動報告です 故 っ

調査特別委員会座長を務めた節 一節氏による 最後はトムラウシ山遭難事 「コンビニ登山 0 危 田



節田講師のトムラウシ山事故の話に聞き入る参加者

関心の高さを感じさせた。 も熱心に聞き入り、 前では謙虚に」と訴えた。 とで失ったものは大きい。 ンビニエンス(便利) 義的な責任はツアー会社、 委ねていいのか、 うさを露呈したトムラウシ遭難 しあるとしながらも、 一の事故は気象遭難であり、 アー会社にすべてお任 山に自分の安全まですべてを と指摘した。 安全登山 になったこ 「登山がコ せのお手 自然の 参加者 ガイド スの

化し、 とに一 も実感した。 リピーターが増えているのも特徴 られるフォーラムは回を重ねるご 会会員、 ζ, 講演した4人はいずれも山 過去の参加者をデータベース ろいろなテーマが取 開催案内を送る努力もあり、 般からの参加者が増えて 日本山 岳会の人材の厚さ (米倉久邦) いり上げ 岳 ļ

集会委員会

蔵王スキー懇親会に 参加

山形駅からバス35分で蔵王温泉に 感じがするが山形新幹線で3時間 2 月 20 報が入り、 心待ちにしていたスキー懇親会 Ę ただちに申し込む 蔵王と聞くと遠方の

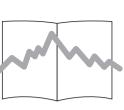
ί,

その後は適当に斜 は霧でぼやけて幻想的。 が懺悔坂周辺一 観光客でいっぱい。 ラダイスから懺悔坂へ、 4時ころ宿へ。 面をなんとかこなして滑降する。 かるお地蔵様の周りは樹氷見物 て中央ロー 事だと言われ、 が多く、 ツルツルで狭く急な斜 プウェーで鳥兜 の樹氷は 面 宿に入り支度を の完璧な樹氷原 面 下りにかかる 20 を渡り歩き 年ぶりに見 ガスが、 スキー ヤ

宿の ではなかろうか 氷原のなかを歩くスノーシュ 開する。 経由して9時には全員お地蔵様 観光客・スキー しい青空の下それぞれ樹氷原に散 前に集合し記念撮影。 など自由散策組に分かれ、 大賑わいだが、途中樹氷高原駅を ノーシュー組は地蔵山頂へ、 組は力量に合わせて滑降、 2月21日、今日 車で山麓線の乗り場まで行く。 今日一番の当り組 ヤー・ボー は 朝 この後はス か 5 素晴ら ダー は、 快 スキ 晴 組樹

後も目いっぱい滑り、 氷原を見るべく地蔵に登り、 夕陽を見て満足して宿に戻った。 一食は黒姫の食堂に集まる。 もう一度樹

石原達夫





唯介・ 著

一空白の五マイル



2010年11月 集英社刊 四六判 312分 定価 1680円

「脱出行」の「

一部で構成され

を覚えた。 践していることを知り、 代の著者が、このような冒険を実 だと思っていたから、 ある。 己すら歴史上の人物という感覚が 代半ばの私にとっ 冒険とはすでに過去のもの 自分と同世 て、 強い羨望 植村直

踏査部を単独で探検し、 ち OB。在学時代からチベット、 検家を寄せつけなかった未踏 れてきたツァンポー川 ルツァンポー川大峡谷に関心をも 空白の5マイル」を目指し、 角幡氏は、 2002~03年、 09年冬には多くの探 早稲田大学探検部の 謎の川とさ 大峡谷の未 ほぼ全容 ヤ 改 地

> 書はこれらツァンポー渓谷での 検をもとに執筆されたものだ。 めてツァンポー 部 「伝説と現実の間」、 渓谷へ赴い た。 第 探 本

独特のユーモアもあるエンターテ たドキュメンタリーでありながら、 出」したのか。探検をテーマにし に自分はとらわれているのか、 数多くの冒険家によって挑戦され の脱出行はとてもスリリングだ。 に巻き込まれ、 しい環境のなかでさまざまな事態 インメントでもあった。 して実際に挑戦し、いかにして「脱 てきたこの渓谷の魅力、 た本書の核心部はもちろん「脱出 の方だ。ツァンポー渓谷の厳 衰弱していく著者 なぜそこ そ

す

われている。

とくに「懸垂下降」

やすく解説しているところにも表

メタ」などの登山用具を分かり

とする著者の姿勢は、「ハーネス」

冒険をわかりやすく伝えよう

とのない秘境に行ってきました_ 自身の冒 和感はなくなった。「誰も入ったこ 違和感があったが、すぐにその違 第 部を読み出して、 |険譚が始まらないことに な か な か

> といっても、 のような退屈さがまったくない。 に描写されており、 いるのだが、まるで今日、 さまざまな資料をもとに書かれて ツァンポー冒険小史は、 意味を持つのかがよく分かった。 幡氏が取り組んだ冒険がどういう てきた「ツァンポー渓谷を巡る 19 じみのない現代人には伝わらな 冒険者たちに取材したかのよう |世紀から現代にかけて行なわれ を丁寧にひも解くことで、 冒険というものにな 歴史の教科書 もちろん 19 世紀

方がヒシヒシと伝わってくる部分 著者のツァンポーへののめりこみ にあげられた参考文献の膨大さ。 の説明は秀逸。これほど分かりや もうひとつ感心したのは巻末 い解説を初めて読んだ。

脱出行を読みたいものだ。 つになるのか未定だが、 險 角 に取り組んでいる。 幡氏は今、 北極周辺で新たな 早く次 帰国が

(阪辻秀生)

ジョン・ガイガー・著 奇蹟の生還 導く人 伊豆原 弓・ 訳



新潮社刊

2010年9月 四六判 255% 定価 1890円

もなお謎は残ると結んでいる。 料にあたり、その一つ一つをつぶ の書で断片的に語られているが、 ちが体験した幻視体験 科学へと収束していくが、それ さに検証する。そして結論は、 くの体験者の話を聞き、 を集めた作品である。 本著はサードマン現象の事例だけ ン現象=姿なき同伴者)は、 限状況から奇跡的に生還した人た Щ 極 埏 海、 アーネスト・シャ 空で遭遇した極 著者は数多 (サードマ 膨大な資 脳

神経学者、 イス、 リンドバーグの大西洋横断単独無 クルトンの極地探検、チャールズ・ か多くの事例が取 ホルト・ ック・シプトン、 着陸飛行など。 生還者から、 事例は多岐にわたり9・11テロ 各章の終わりで心理学者、 ヘルマン・ブール、 メスナー、 神学者が 山関係では、 フランク・スマ りあげられて 山野井泰史ほ 一サードマン ライン エリ

だ。

止

一血処

置

をし

 \mathcal{O}

ままで5日

意を決

いした彼

がまれ

身

動

きがとれ

なくなる。

クライ

ーミン

グ中、

落石に右腕

ブ

ĺ ĺ

1

ジ

3 ٠.

•

キャ

ニオンで

単 州

口

ラル

スト

シ

んはユ

タ

裂

15

新

駋 そ 間。

[をビニー ナイフで腕

袋で を切

包 n は そ

全

降

10

歩

i

7

1 Ġ

1 で ル

助 下

士

 σ 切

壁を一

本

垂

凄絶

な苦

顱

0

最 力 腕

中

誰

か

そばに

15

て励

がまし

てくれ

1

9

75

26

静

岡に

移

1)

取 を説 一げて紹介してい 崩 しようとする

を

状況の 現われる。 力になっ ナーによれ 孤独感を 、と導 が なか 13 差し たと。 てくれ 抑えるた ば で、 迫 か 一不可 ま 何 る っ か 緒 たと思 が め サ 能 に 起 0 £ 5 ĺ か)きる。 心 たこと 5 F わ 理 7 Ó Ż 的 ン 出 れ は が ス る

てく ときも 確 セ 61 登 伝 てい つも か ル つ チ つ をし やビ にクライ 3 7 る。 な Ш ! 後 「なんでラッ してくれ」 いんだ」 野井 いろを 13 オユ たの 1 姿 · ク地 は 歩 7 は を覚 次の 1 1 15 とか、 見えなか を整 لح と思える人 南 7 パえて か セ ような 西 いた ル 璭 壁 自分で 整地 を代 ーをソ ί, Ū る。 そ つ 経 13 ラ た 間 0 験 口 わ 手 ッ が が L つ る 本

> サ 学に在籍 歴史学を専攻 1 でいくつ 著者はカ F 7 か ナ 0) グダ 0 存 著作 ン 在 フ 現 ア を イ 在 ĺ 語 が ある ク バ ŀ つ シ 1 口 7 ント タ大学 3 15 分 大

雨宮宏光

百名山完登と富士山 元利 通



2010年7月 羽衣出版刊 B六判 369分 定価 1300円

連れら なっ れら ため である。 る半 り込 国 岐 岡 か Ш 脳山に た登 たそ Ш ħ 2 生 $\overline{\mathcal{O}}$ 111 n 峰 み、 が れて \overline{O} 1) 県 は きっつ 登る。 Ō 生 屲 記 OŔ 大学2年の夏、 百 \mathcal{O} 有 名山 年に 、を駆 以後、 報告 録で 登った兵庫 の Ш 兀 夏、 1 か 取 村 利 けに 初めて は 県 あ あ √° け 0) 通 手当 第33登 初め 巡る 大学生 1 境 集大成 る。 生 氏 な 0 ス ま \mathcal{O} で Ź 「たり次第に 県 Ō 故 折 って山に れ 再び であ 登 登山 一の兄に 々に 山 あ ع \hat{o} 鄉 社会人に た氏 い最高峰、 こいう 15 っ \tilde{O} 足に る。 関 体 山 L 0) 験 連 は た わ

> 続登 登 衰えることなく、 れ 登 登 S 住 **貧記録** 歳で300登を達成 る た 山 頂 る。 み、 記録 を目 んすら が、 頂 を自 富士 42 高 を更新 氏 は 前 歳 登 校 「らに課 0 Щ n のとき、 富 あ は 師 L U えなくここで途 て滑落負 40 け、 0 て 2 山 登 勤 Ų 富士 の登 だ迫 38 歳 £ \$ 0 め る。 0 85 L 9 高 力 Щ る で か 年8 意欲 百名 月 毎 た 毎 連 并 わ 在 13 月 は 切 月 続 連 で Щ

然步 より 下に従えた峰は 間 れ なき記録達成の意欲であろう。 「わたし、 は登 トメルー を突き動 して記録更新中である 0) と有 未満、 短縮 道 $\hat{2}$ あ 時 度 Щ 踏 回 元氏は 登っても満 は富士に飽 間 (55歳で富士宮 海外の・ がし 破 数のみならず 45分を達 進 言う 1 ているも (行中)、 山 0 足感 も含む 0 が、 きることが 成 0 もう一 さらに足 Щ \Box \tilde{O} が 東海 登高 5合 は 得 1 5 飽 そ つ、 0 時 れ な 自

だ続く。 体力 打ち上げ、 61 るの 氏 さて、 今年、 0 は身 か 衰 ええも見 長 62歳を迎 有元氏 どこまで $\begin{array}{c} 1 \\ 8 \\ 0 \end{array}$ れ せず、 からどん 0 チセン ええる 挑戦はまだま 記録を追 を ま 大島康弘 凌 な す が ぐ ます 企 男 丈 か 若 欲

図書受入報告(2011年3月) 名 ページ/ サイズ 刊行年 寄贈/購入別 著 者 出版元 春夏秋冬 山のぼり 224p/22cm ナカニシヤ出版 著者寄贈 増永油男 2010 武蔵野三中山岳部OB会(編) 武蔵野市立第三中学校山岳部小史---昭和27年~35年の記録 81p/26cm 武蔵野三中山岳部OB会 2011 発行者寄贈 草川啓三 琵琶湖の北に連なる山――近江東北部の山を歩く 163p/21cm ナカニシヤ出版 2011 出版社寄贈 223p/20cm 山と溪谷社 2011 出版社寄贈 南木佳士 ライチョウ会議 (編) 第11回ライチョウ会議石川大会報告書(2010年11月13日-14日) 126p/30cm ライチョウ会議 2011 発行者寄贈 生老病死のエコロジー――チベット・ヒマラヤに生きる 奥宮清人 (編) 248p/20cm 昭和堂 2011 出版社寄贈 日本山岳会東海支部(編) アッチェ峰初登頂 96p/30cm 日本山岳会東海支部 2011 発行者寄贈 権藤司 (編) 山から始まる自然保護:山の自然学クラブ会報(第10号) 174p/30cm 山の自然学クラブ 2011 発行者寄贈 206p/30cm 山の自然学研究会 船橋明 (編) やまの自然(第3号) -- 山の自然学研究会 研究報告書 2008年 (2版) 2008 編者寄贈 船橋明 (編) やまの自然(第4号) --- 山の自然学研究会 研究報告書 2006年 118p/30cm 山の自然学研究会 2006 編者寄贈 やまの自然(第5号) -- 山の自然学研究会 研究報告書 2007年 編者寄贈 船橋明 (編) 100p/30cm 山の自然学研究会 2007 やまの自然(第6号) — 山の自然学研究会 研究報告書 2009年 船橋明 (編) 130p/30cm 山の自然学研究会 2009 編者寄贈



日時 平成22年度第11回(3月度)理事会 平成23年3月23日 分~21時5分 18 時 35

場所

日本山岳会 会議室

【出席者】尾上会長、 相馬 各常務理事、 藤本各副会長、 山 川 · 野沢・ 太田・ 神崎・宮崎 成川 ・ 堀井 中 山 岡部

平井監 永田・ 事 萩原各理 近藤・森各常任 事、 深川・

評議員

【欠席者】酒井常任評議員 【委任】 谷川理事

様であり安堵した。さる12日の総 は現時点では大きな被害がない模 があり、 の度の震災で罹災された方々に対 である。 会開催は大震災直後のことでもあ して衷心からのお見舞いのことば 開会にあたり尾上会長から、こ 開催は苦渋の選択をしたもの 「各支部関係者について 総会では原案通り可決さ

> こととなる」との挨拶があった。 の総会に定款改定(案)を諮り、 けて進むことになり、来たる6月 成案を得ていくことが確認された。 会において鋭意議論、 意見交換があった。4月度の理事 T担当の藤本副会長から行なわれ、 款施行細則についての説明が同P 行PTが検討してきた新定款、 閣府に申請手続きの準備を始める れ日本山岳会は なお、定例の「審議事項」 「報告事項」 の後に、 「公益法人」 審議をして 新法人移 一およ 内 向 定

審議事項

1・事務局長退職 (宮崎

より、 動 2・東日本大震災災害への募金活 今後改善解決すべき事柄について の意見が出された。 事務局スペース・机の配置等々、 2月3日付で一身上の都合に (宮崎 諏訪事務局長が退任した。 成川 (承認

> 3・登山道情報調査チームメンバ 事会に諮ることとしたい。(承認) 援状況等の推移を勘案して別途理 義援金の使途については今後の救 事とし必要に応じ委員を増員する。 藤本・宮崎各副会長、岡部常務理 務理事、 を承認願いたい。委員長 けになるが「震災救援募金委員会 会報へ折込チラシを入れた。 でに義援金募金用の口座を開設し 先の総会直後検討に着手し、 委員は尾上会長、 成川常 神崎 後付

51)各氏にお願いしたい。(承認) 2378)および宮崎紘一 号10414)、遠山元信 メンバーとして北野忠彦(会員番 いる登山道情報調査チームを設け、 かねて実施することになって 掲載許可・原版借用願い(宮 (同 5 7 (同 1

株第一学習社から、

3月8日付であった。 借用願いと同写真掲載許可願いが に小島烏水氏の写真原版(紙焼き) する高等学校用教科書 同社が発行 (2種類

から同委員会主催のフォーラム 5・ロゴマーク使用願い 科学委員会(米倉久邦委員長 (宮崎

|登山を楽しくする科学(Ⅲ)||で配

布予定の予稿集にJACロゴマー ク使用願いが2月14日付であった。

【報告事項

1・評議員会報告 (宮崎)

告(宮崎 2 · 平成22年度第2回通常総会報 会(2月11日)に諮り、承認を得た。 総会付議議案について評議員

資料請求が2月22日付であった。 年通り役員とその経歴についての 料請求(役員の経歴)(宮崎) 3・2011年度予算に関する資 した議案はすべて承認された。 大震災の状況を勘案して中止した。 文部科学省スポーツ課から例 12日開催の総会において付議 恒例の総会終了後の懇親会は な

4・商標権更新登録申請完了

申請更新は向こう10年間である。 標事務所から3月4日付であった。 た旨の報告が依頼した菅原特許商 5・闎自然公園財団の評議員会 商標権更新登録申請が完了し

あった。 が3月16日開催された旨の連絡が 財自然公園財団から、 評議員会

6 企画展の案内

た。期間は3月9日から7月3日 念収蔵コレクション展の案内がき 田淵行男記念館開館20周 年記

7・類似名称団体の連絡 (宮崎

との連絡があった。 登記された「一般社団法人日本ア あり混同しないよう注意願いたい ルパイン・ガイド協会」は、「独日 本山岳ガイド協会」とは別組織で 出日本山岳ガイド協会から最 東京都の一般社団法人として

である。 じておく必要があるが、今回 態にならぬよう日頃から対策を講 権更新登録をしたこともその 日本山岳会としてもかかる事 一商標 環

8・映画 ョーの名義使用願い 岳 試写会とトー (宮崎、

の予定で名義使用願いがあったが、 大震災の状況に鑑み中止となった。 毎日新聞社から4月23日実施

9・「谷川岳の日」 ついて(宮崎 制定の記事に

4)からあった。 長八木原圀明氏 たとの連絡が群馬県山岳連盟副会 「岳の日」 と制定することになっ みなかみ町で、 1920(大正9) (会員番号865 7月2日を

> を登山史上初縦走したことにちな 氏と森喬氏による群馬・新潟県境 年7月2日にJAC会員藤島敏 んだものである

10・図書貸出申請 (宮崎

理院 が損傷し、 なお、当企画展は地震により建物 察』ほか) 県つくば市」) において展示した 5 5 0 山 い図書11冊 今西錦司 国土地 「地図と測量の科学館:茨城 理院から同院の 現在中止している。 の貸出申請があった。 登頂の記 三角点を巡る (今西錦司著 録 国土 『山岳省 企 画 地 İ 展

10

9 8

11・名誉会員の訃報 (宮崎

12・2011年度自然保護全国集 $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{3}$ $\frac{1}{1}$ 名誉会員堀田弥一氏(会員番号 が逝去された。

(藤本

催される。 会と福岡支部の共催で、「エコツ リズムと屋久島」をテーマに開 6月11日、 12日に自然保護委員

13・東京都山岳連盟の総会(藤本)

長 14 が2月22日開催され出席した。 東京都 会報 Щ 『山』 3月号編集報告 岳連盟の第9 回総 神 会

4 **分** 3月

3 日 2 日 目 フォトクラブ 常務理事会 図書委員会 スケッチクラブ 集会委員会

1

7 日 総務委員会 の森づくりの 九五会 会 高尾

Ě 日 H 総務委員会 総務委員会 のり山の会 総務委員会 山岳地理クラブ スケッチクラブ 休山会 みち 山の自然学研 山想俱楽部

11 日 総務委員会

22 日 16 青年部 フォトクラブ

24 日 23 日 理事会 麗山会 自然保護委員会 山遊会

28 日 25 日 総務委員会

Y O U T 支部活性化PT Н Р T J A C スケッ

30 日 31 日 学生部 集会委員会

チクラブ

来室者 $3\overline{4}1$

■会員異動 (3月)

吉川 渡辺節子 昭 6 3 7 0 $\binom{6}{5} \binom{6}{5}$ 埼玉 北海道

東京都立神代高校山 8 6 1 3 医部 Ö В 会

岡 本道 (直樹 生

8 4 0

17

寺本 中山武男 山口善弘 神部 杉本行也 西岡圭子 三原永揮 松岡正照 新美洋右 月野鷹雄 石井右介 下薗正記 宮崎初恵 石川年春 神島建和 加賀谷吉俊 石水久夫 村田茂仁 鳥山せつ子 野中則彦 牧野昌久 平山暁子 土肥貞之 大柴正人 土肥久美子 川戸アイ 藤井信己 脊戸典子 祐 二男 $\widehat{1}$ $\widehat{1}$ $\widehat{1}$ 1 1 $\begin{pmatrix}
1 \\
1 \\
4 \\
0 \\
0
\end{pmatrix}$ 1 1 $\widehat{1}$ 1 $\begin{array}{c}
 1 \\
 0 \\
 5 \\
 6
 \end{array}$ $\begin{array}{c} 1\\4\\7\\1\\2\end{array}$ 1 3 8 9 7 1 3 7 5 1 1 1 3 1 5 5 $\begin{array}{c}
 1 \\
 3 \\
 0 \\
 3 \\
 4
 \end{array}$ 1 2 8 4 0 1 2 8 1 3 1 1 2 1 4 8 1 2 6 5 5 1 $\begin{matrix} 1\\1\\1\\0\\4\end{matrix}$ 1 1 $\begin{array}{c}
1\\2\\8\\3\\4
\end{array}$ 1 1 9 8 0 1 1 9 0 6 0 0 $\frac{1}{4}$ $\frac{3}{0}$ $\frac{0}{2}$ 1 2 8 3 5 3 6 2 7 8 0 2 7 7 3 0 0 0 0 4 4 3 8 2 3 0 8 5 7 3 4 7 0 5 6 2 7 6 2 1 2 8 9 9 3 3 0 9 46 9 北海道 東海 京都 宮崎 石川 越後 関西 東海 千葉 京都 関西 信濃 福井 秋田 秋田 関西 東京多摩 東京多摩 秋田 東海 Ш

日時

5月21日出13時より購入申

照)。 度の申込みの必要はありません。 りで購入申込みをされた方は、 み方法は、会報 みを受付けます 28回図書交換会を開催します。 ・図書交換会の開催 4月末日まで追加の購入申込 震災の影響で延期していた第 また、 すでに2月末の締切 Щ (出品目録、 1月号を参 図書委員会 申込

場所

山岳会104号室

込み・

抽

選を開始します。

12時から本の内覧可

能

問

合

三好まき子

019 - 8601

越えとウェストン祭 ▼新入会員のための企画 344mm@mbe.nifty.com 「徳本峠

山研委員会

翌日 間づくりを手助けする企画です。 の徳本峠を越えて上高地入りしま をたどり、 ウォルター・ウェストンの足跡 上高地では山研に1泊して、 「碑前祭」に参加。 6月4日出~5日田 新緑の島々谷から残雪 新会員の仲

申込 定員 5月21日までに柴山信夫 20名(22年度入会の会員 よび本会会員の希望者) 44-900-3439 お

> *申込者に詳細を送ります * 現 地集合・解散 ⊠ sibasan@sannet.ne.jp)

▼上高地フラワートレッキング 山の自然学研究会

インフォメーション

最近20*。以上歩いた人が対象 雨天決行。 花 往 復 15 の渓、 -(上高地で、徳沢近辺ま 17世を歩きます。

場所 解散 集合 集合・解散ともに、 6 月 7 15時を予定 **白**(火) 9 時 上高地

申込 費用 5月31日までに、 6 0 0 円 をご案内します。 大船武彦へ。返信で詳! ビジターセンター前広場 (保険料、 メールで 資料代

「冒険の伝説・未来」 (Sskbtaw @yahoo.co.jp)

植村直己冒険館

日時 ラムが開催されます。 館の主催で、 兵 (庫県豊 5月15日(113時15分~17時 岡 左記のようなフォ 市の植村直己冒険

内容 申込 3 F パ 明治大学アカデミー 無料だが、5月6日までに 、ネルディスカッ 村 直 アカデミー 己 冒 険館 ショ ホー 0 7 ンなど コモン ル

第13回「秩父宮記念山岳賞」の推薦について 秩父宮記念山岳賞審査委員会

第13回「秩父宮記念山岳賞 | の推薦(他薦の み)を下記の通り受付けますので事務局まで資 料をご請求下さい。

多数の推薦をお待ちしております。

- 対象分野登山活動 ・山に関する文化活動
- 提出先 日本山岳会内

秩父宮記念山岳賞事務局

●締切り

平成23年8月末日

午餐会会費、

記念品代

傷害保険料

費用

1万2000円(1泊2食)

0

96-44-1515)

定款変更に |全会員の意思表示を

6 月 18 |状を提出してください の総会には

総務委員会

す。この総会では、法人改革新法 ます。定款を変えるという重要な 題として取り上げられ、 に適合させるための定款変更が議 6月18日に開催を予定してい 年度 の 第 1 回 通常総会 審議され ま

早く移行申請を行なわなければな 新法人の定款を定め、 新法人に移行しなければなりませ 人日本山岳会は、25年12月までに ご承知のように、 「公益」か 「一般」かを選択し、 私たち社 できるだけ 団法

法人移行プロジェクトチームによ って、法の許す範囲で、 が に沿った「新定款」を決める必要 行定款」を変更し、法人改革新法 決めました。次の手順として「現 「公益法人を目指す」との方針を 、ます。 ?あります。「新定款案」は、 3月12日の総会で、 を生かした形でまとめられ 私たちは 「現行定

> の賛成) ち338通は委任状としては無効 任したためです。 先の記載がなかったり、会員でな 595名でした。しかし、そのう き)を寄せた会員は、 籍会員のうち、出欠の回答 第2回総会では、5158名の在 任状は出席とみなされ、 分の3以上の議決 それぞれ理事・会員の現在数の により理事会および総会におい い人や総会に出席しない会員に委 した。委任状に自分の名前や委任 わった「1票」の重みを持ちます。 3月に開かれた平成22年度の 定款変更には、 議決にカウントできませんで が必要です。その際、 現行定款の定 (約3900名 約半数の2 議決に (は 委 7 が 加

って、 議案(3分の1の出席で総会が成 款変更」は、 必要な最重要案件です。 念のためつけ加えますと、 過半数の賛成で議決) より多数の意思表示と賛 総会にかかる通常 と違 一定 0

> 提出をお願いいたします。 できないすべての会員に委任状 最も重要な総会です。総会に出席 は、 ても避けなければなりません。 事務の遅れを考えると、 がかかるのに加え、 の整理などでかなりの費用と手間 時総会を開催するのは、 数に、遠くおよばないからです。 はできません。必要な総会出席者 ても「新定款案」を議決すること 態を打破しない限 新定款案」を再審議するため臨 ですか というわけで、 総会資料の印刷・発送、 日本山岳会の存立にかかわる 6月の総会で議決できず、 5 これまでのような状 6 月 18 ŋ その後の申請 総会を開 なんとし 会場の確 日の総会 返信 0

に賛成された票としてカウントさ する場合は、新定款案を含む議 書いて投函してください。 便でお届けします。 はがきを同封して、5月下旬に郵 どの議案に、 事業報告、 いて賛否を委任する会員の 委任」の欄に署名し、議案につ います。 なお、尾上会長(議長) 総会の開催通知書は、 決算報告、 出欠·委任状 そのはがきの 定款変更な 22年度 の回

■訂正とお詫び

3月 (790) 号10~~、 した。訂正してお詫びします。 目、「祖先」は 祖元 の誤りで 3段7行

❖編集後記❖

興への小さなお手伝いになるかも を覚えました。春から夏へ、 されましたが、「ぜひ、東北の ちました。被災された皆さまには しれません。 の山のよさを再認識するのも、 へ」というアピールには強い共感 た。それぞれに大変な状況が報告 今後について原稿をお願いしまし 福島の各支部長に、当日の模様と 重ねてお見舞い申し上げます。 大な被害のありました岩手、 本大震災から、 ●未曾有の被害をもたらせ ほぼ1カ月半 19

山 791号 日本山岳会会報

2011年(平成23年)4月20日発行 発行所 社団法人日本山岳会 **〒**102−0081 東京都千代田区四番町5-4 サンビューハイツ四番町 東京(03)3261-4433 東京(03)3261-4441 日本山岳会会長 尾上昇 編集人 神長幹雄

E-メール:jac-kaiho@jac.or.jp 印 刷 株式会社 双陽社